

OZORA

おおぞら

サブテーマ 「人を大切にする企業を目指そう」

- 発行人 水野 一久 (平成23年度・会長)
- 編集責任者 橋本 正幸 (地域活力向上委員会)
- 編集委員会 地域活力向上委員会
- 綱 一、われわれは自己の研鑽に努め、英知を養う。
- 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
- 領 一、われわれは団結して中小企業の発展をはかる。

URL:www.tsc21.gr.jp E-mail:tsc@tsc21.gr.jp



鳥取県東部中小企業青年中央会

2012年2月発行 NO.162



会長あいさつ

新年あけましておめでとうございます。

また旧年中は青年中央会の活動にご尽力頂き、心より御礼を申し上げます。

1月19日(木)に開催しました新年例会は、平井知事、深澤副市長を始め、多くのご来賓の皆様、OB皆様にご臨席賜り、盛大に開催することが出来ました。本当にありがとうございます。また運営にあたり会員の皆様の「目配り」「気配り」「心配り」に深く感謝申し上げます。

会長 水野 一久

そして本年3月16日(金)にはJSパートナー株式会社 代表取締役 福島文二郎氏をとりぎん文化会館にお招きして「リピーターを創るマインドと接客スキル」～テーマパークから学ぶ

CS向上のヒント～というテーマでご講演頂くことになっています。お客様の期待を上回るサプライズや感動をどうやって提供していくのか、また顧客満足を提供する「人材教育」、人材を育成する職場の「風土」や「文化」をいかに創っていくべきか等、「この時代に生き残れる企業づくり」に繋がる大きなヒントを多数発見出来るはずです。この3月例会は会員以外の皆様にも無料でご参加頂けるオープン例会となっておりますので、会員企業の従業員の皆様、またお知り合いの方々をお誘い合わせの上、是非ともご参加頂ければと思います。

結びになりますが、年頭にあたり皆様の益々のご繁栄をお祈りいたしますとともに、本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



例会報告

1月例会

1月例会を振り返って

スタンディング委員会 高木 秀員

1月新年例会を振り返って、ある程度形がある例会ですが、新年を祝い、来賓・OBの方々と更に交流を深め、会員相互が目配り、気配り、心配りをして仲間へ感謝出来る例会にしたかった。

OBと現役会員をあらかじめ配席した各テーブルに座わって頂き交流を深めた。やはりこの配席は来年以降も引き継いでいただきたい。

たださらに良い例会にする為に、会員一人一人がお招きした来賓、OBに感謝をし、おもてなしの心を持って接していただけたらさらに最高の例会になると感じました。

当日対応の出欠や電報、お祝い等ありましたが、卒業生の小西利雄会員の目配り、気配り、心配りが行き届いた最高の司会。卒業生が青年中央会のメンバーに会の醍醐味を再度気付かせてくれた影響深い感動の司会で私もうるっとしてしまいました。

そして最高の司会で委員会メンバーは1つになりました。

そんな進行でした。時間配分、連携、集計等練習以上の例会が出来ました。

例会を行うにあたって、来賓・OB、会員の皆さん、会社、家族にはたくさんの協力もしていただきました。皆さんには感謝しております。

年々成長していく、新年例会と青年中央会そして自分にしていきたいと思います。

精一杯の日々の合計が自分自身の人生だと思えます。ありがとうございました。

10月例会

10月例会を振り返って

CS向上委員会 委員長 松島 祐一

去る、平成23年10月20日（木）ホテルニューオータニ鳳凰の間にて、講師にソニー生命保険株式会社 執行役員常務 貝谷嘉彦氏をお迎えして「顧客満足度の向上」～お客様の期待する一歩先を考える～のテーマのもと、例会を行いました。この時代を生きぬくために商品やサービスに対していかに付加価値をつけていけるのか？お客様に対してどこまで「思いやり」を持てるのか？

自社の基本理念や行動指針を踏まえ、顧客満足度の向上についてご講演頂きました。貝谷先生が言われた言葉の中に「final three feetの空間」を大切に。一番私の心に残っている言葉でした。

経営者とおお客様の距離も従業員とおお客様の距離もどちらも変わらない事に気付きました。「final three feetの空間」とお客様への「思いやり」を大切に今後のビジネスに繋げていきたいと感じました。

CS向上委員会メンバーの皆さん例会運営お疲れ様でした！田中副委員長も初めての現場総括で緊張したと後から聞きました。例会が成功裡に終わったのも委員会メンバーと会員一人ひとりのご協力の賜物だと思います。

最後に貝谷様、古川様この度は遠方より当会のためにお越し頂きましてありがとうございました！感謝！



11月例会

11月例会を振り返って

地域活力向上委員会 委員長 橋本 正幸

去る11月16日（水）ホテルニューオータニ鳥取、鳳凰の間にて例会テーマを、『共存共栄』～コラボレーションで地域を共に支える～として、各自テーブルごとにグループディスカッションを行い、新事業の構築やお互いの基幹事業の発展について相乗効果を目的としてコラボの可能性を探りました。

今回はあらかじめテーブルの組み合わせや進行の仕方等を設定し、当委員会メンバーが進行・書記を行いました。最初は各テーブルともなかなか話が弾まなかったようですが、時間とともに活発なディスカッションが行われていました。うれしかったのは、例会終了後にも語り合っている会員さんや名刺交換をしている会員さんを見かけたことです。

これをきっかけに、中央会という名のもとに集まった仲間たちが、お互いの相乗効果という意味で、もっともっとビジネスにつなげていってほしいと思います。

最後となりましたが、委員長として初めての例会開催に当たり、至らぬ点多い中多数の方々のご理解・御協力を頂きましたこと、心より感謝しております。本当にありがとうございました。

12月例会

12月例会を振り返って

企業活力委員会 委員長 安部 剛司



平成23年12月15日（木）ホテルニューオータニ鳥取 鳳凰の間において、あだち人材育成研究所 代表 足立博俊氏を講師にお迎えし、「従業員満足度を高めるために」～アクティブリスニング（積極的傾聴）を身につける～というテーマでご講演頂きました。

日頃、我々は従業員と「聞く」「話す」という当たり前の行動を起こします。これをコーチングという技法をもとに、もっと「聞く」という事を有効的に使う方法を教えて頂きました。

ただ単に聞くのではなく、聞く事によって従業員とのコミュニケーションをはかり、さらに、アクティブリスニングという技法を使ってより深く聞く、そうすることで従業員との信頼関係を築き、傾聴 → 承認 → 効果的質問を繰り返す中で、従業員のやる気を引き出し、目標達成への手助けをする、という今まであまりなじみの無い技法でした。

また、講演中には、ただ聞くばかりでなく、ちょっとしたミニテーマを与えられ、2人組や3人組でお互いに議論を行う時間も、自らが実践する事で比較的理解もしやすい例会だったのではと思います。

従業員の方とコミュニケーション力を上げ、目標達成の手助けをする事は、従業員満足度を上げるための重要な一つの要素です。自分自身を振り返った時に、今回の講演で何らかの気づきがあれば、この例会は成功だったのではないかと思います。ありがとうございました。

◎忘年会

12例会終了後、場所を移動し、青年中央会忘年会を開催致しました。

水野会長の乾杯でスタートし、個人対抗、委員会対抗などのゲームを行わせて頂きました。

ゲームに参加して頂いた皆さん！忘年会の盛り上げ役に？なって頂き、本当に助かりました。

最後は、鳥越直前会長にビシッと締めて頂き、やっぱり青年中央会サイコー！という気持ちで無事に終わる事が出来ました。

今回は有志参加にも関わらず、参加して頂いたたくさんの会員さん、そして、事前準備から進行まで奔走してくれた企業活力委員会メンバーに感謝申し上げます。

親睦事業ソフトボール大会

..... 県出向理事 長谷 忠

平成23年10月16日（日）北栄町北条運動場にて最高の天気の中、平成23年度鳥取県中小企業青年中央会の親睦事業ソフトボール大会が開催されました。

「親睦事業によって各地区の親睦をより一層深めると共に鳥取県中小企業青年中央会の団結力を高める」の目的のもと、東部35名・中部16名・西部32名、総勢83名の会員さんにご参加いただきました。

東部からは3チームがエントリーして大接戦の中、準優勝（東部Aチーム）、3位（東部Bチーム）、7位（東部Cチーム）、このような結果でありました。

ソフトボール大会後は、炉端かば倉吉店にて行われた懇親会及び表彰式に総勢55名の会員さんにご参加いただき、ソフトボールで共に笑い、共に汗を流し、共に激戦を繰り広げた仲間たちと互いにお酒を酌み交わし、県全体の更なる親睦を深めることができました。

ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

そして、今後も鳥取県中小企業青年中央会視察研修事業、鳥取県中小企業青年中央会親睦ゴルフコンペがあります。皆さん、ご協力宜しくお願いいたします！！

委員長・副委員長交流会

..... 県出向理事 大塩 憲司

皆さん、こんばんは！！

今年度、県出向をさせて頂いております大塩です。

昨年、10月15・16日に開催されました平成23年度委員長・副委員長交流会では関係者の皆様に多大なご協力を頂きありがとうございました。

今年度の交流会は、テーマを「リスクヘッジからの委員会運営」とし、より実践的な交流会となるよう情報・交流委員会メンバーでアイデアを出し合いました。

グループディスカッションでは、各グループの委員長・副委員長が活発な意見交換を行い、まとめた意見を順に発表していただきました。参加者からは「今回参加してとても役立った」「実践しやすい内容だった」と嬉しい意見もいただきました。

その後、北条オートキャンプ場横の焼き肉店に場所を移し懇親会を行いました。

山上県会長の「乾杯」の合図で始まった懇親会は、参加メンバーが肩の力を抜いて、美味しいお酒や料理を食べながら、各地区の近況やお互いの仕事の話などを語り合い、会員同士の親睦を深め、大変盛り上がった懇親会となりました。

宿泊は、キャンプ場のバンガローに宿泊予定でしたが、ここでも興奮冷めやらぬメンバーは山上県会長を囲んで、深夜まで委員長・副委員長ならではの悩みや熱い想いを語り明かしました。

最後になりますが、新しい試みにチャレンジした今回の交流会にご協力いただきました委員長・副委員長の皆様、県役員の皆様、本当にありがとうございました。

第11回フラワーフェスティバルin湖山池～咲かそう ふれあいの花～

..... 第11回フラワーフェスティバル実行委員会 実行委員長 常田孝一郎

「第11回フラワーフェスティバルin湖山池～咲かそう ふれあいの花～」を今年も湖山池お花畑ゾーンにて開催いたします。沢山の皆様のご協力により例年通りの開催ができますことに感謝いたします。

私たち鳥取県東部中小企業青年中央会は、「日本一の湖山池を花のあふれる市民の憩いの場にしたい」、そんな思いから2002年より「フラワーフェスティバルin湖山池」を継続して開催してきました。今回で11回目を迎えるに当たり、日頃本業でもお世話になっている鳥取市民の皆様へ、今年度当会テーマ「感謝体现」を実践すべく、楽しくそして自然に触れられ、癒されるイベントにより、自然の大切さや素晴らしさ、私たちのふるさと「とっとり」の魅力を再発見・再認識していただきたいと思っています。

今回のイベントで新たにポニーとのふれあい体験を企画しました。NPO法人鳥取ポニー広場さんにご協力いただき、乗馬体験させていただきます。その他、毎年恒例のペットボトルロケット大会、海賊船による湖山池周遊体験、ガーデニング教室、湖山池で採れるアシヤ材料を使った和紙ハガキ作り&工作、オリエンテーリング、お花のプレゼント、昨年好評でしたご当地グルメの屋台など、当日はチューリップをいっぱい咲かせて、沢山の皆様のお越しをお待ちしております。どうぞよろしくお願いたします。

「第11回フラワーフェスティバルin湖山池」

開催日時：平成24年4月15日（日）

10：00～14：30

開催場所：湖山池お花畑ゾーン



3月オープン例会のご案内

..... C S 向上委員会 委員長 松島 祐一

みなさん、こんばんは！今年度のオープン例会を担当させて頂きます松島です！よろしくお祈りします。来る、3月16日（金）19：00～とりぎん文化会館 小ホールにてJ S パートナー株式会社 代表取締役 福島文二郎氏を講師にお迎えして「リピーターを創るマインドと接客スキル」～テーマパークから学ぶC S 向上のヒント～についてご講演頂きます。東京ディズニーランドは、なぜあれだけリピーターが多いのか？9割がバイトでもなぜあれだけ接客スキルが高いのか？率直な疑問が浮かびます。今回は福島先生にディズニーの人材育成についてご紹介して頂き、一般企業でも活用できる人材育成のコツとポイントを教えて頂きたいと思えます。3月の年度末でお忙しい時期とは思いますが、定員500名満員御礼で臨みたいと思えますので皆さんご協力よろしくお祈りします！

ラーメンクラブ

..... 書記 谷口 毅

しんしんと雪が降る真夏の海岸。太陽がギラギラと照りつける秋の空。桜が咲き誇る冬の日本海。真っ赤に色づいたケヤキの木が、山々を美しく彩る春の夕暮れ。日本には、それぞれに美しい四季があります。古来より、私たちは季節の移ろいを肌で感じ、目で楽しみ、それを歌に詠みました。

私たちラーメン倶楽部の魂は、このような日本人の心にあります。とんこつを愛で、しょうゆの意気を感じ、めんまに涙を流す。ラーメンを通じ、「もののおはれ」を感じずる繊細な心を養う。それが、私たちの目指すところです。

売り上げ向上に奮闘する日々。部下の気持ちをつかむために苦闘する日々。長期の戦略を立て、困難と闘いながら、それぞれのビジネスを遂行していく。そうした中で、日本人として、人間として、忘れてしまいそうになる魂があります。

ラーメン倶楽部は、月に2回ほど開催されます。ラーメンを通じて、私たちの魂を取り戻そう。人間らしい心を育もう。同志を募集しています。

Information

～新入会員～

- 11月入会
森脇 勲氏 有限会社ワーキング(地域活力向上委員会)
植田 洋志氏 株式会社エヌ・エル・エヌ(C S 向上委員会)
- 12月入会
成川 博敏氏 株式会社Peeba (C S 向上委員会)
- 1月入会
大原 教嗣氏 有限会社大原工務店 (C S 向上委員会)

～新社屋落成～

- 土江 征典会員 「花のれん 風紋」
- 八木谷 勇二会員 「花工房 やぎたに 大丸店」
- 西根 伸吾会員 「ソフトバンク イオンタウン 大田店」等7店舗
- 森 雅道会員 「ラウンジM's」

～結婚祝い～

- 波當根美紀会員 おめでとございます。

T S C - F C について

..... T S C - F C 吉田 雅之

早いもので2012年も1ヶ月が終わり鳥取では例年以上の大雪に見舞われました。

しかしこの大雪をも溶かす勢いで活動しているクラブをご存知でしょうか？

そうです！我らTSC-FCでございます！

昨年12月、今年1月と二ヶ月に渡り、想像以上にハードな練習を重ねてきた私達。

理由は1つ・・・そう！第3回BLUES-CUPの開催です！

今回は前節を2月6日、後節を3月2日、共に県立体育館で開催予定としております。

第1回大会を見事制した初代王者の我々は、第2回大会では打倒TSCを誓う相手チームに徹底的に調べられ、得意のチームワークの良さも封じられ苦汁をなめさせられました。

しかし、ここで黙っているわけにはいきません！

元王者としての意地とプライドがメンバー全員に火をつけてしまったのです！

今回は新たに3名の新メンバーも加わり、大きな戦力アップとなりました。

このおおぞらが発刊される頃には前節が終わり、私達が圧倒的な力の差を見せつけて首位を独走していると思えます。後節も全勝をめざし第3回大会、絶対に王者に振り返ります!!

みなさま、応援のほどよろしくお祈りいたします!!



限界ランバース

..... 前田 真教

2本の脚をひたすら前後にスイングさせるだけの単純な動きにもかかわらず、続けていけばいくほど奥深いランニング。そんなランニングの基礎ともいえるのがウォーキング。①背骨をまっすぐにして、②背骨の真上に頭を持ってきて、③視線は遠く50m先ぐらいを見ながら、④胸の心臓のあたりから足が伸びているイメージを意識すると、体幹と言われる身体の大きな筋肉が使われて、ダイエットの効果が何倍にもなります。このイメージで走ることで腰の後ろ側の大きな筋肉が使えるので楽に走ることが出来ます。去年は岩美駅から鳥取駅までのナイトウォークを筆頭に、コココーラウエストパークでの月一回のジョギング練習をこなしました限界ランバース。今年は青谷駅からのナイトハイク、大山登山をGW明けに行いますので、皆様のご参加をお待ちしております。また、山本OBが2月26日の東京マラソンに出走されますので、鳥取の地からエールを送りましょう！

編集後記

断続的に雪が降り、時には大雪となっている今年の冬・・・きちんと体調管理をして、精神的に乗り切りたいですね！水野年度が始まり、はや折り返しです。本年度のテーマ「感謝体現～人を大切にする企業を目指そう～」の名のもとに、各委員会の委員長・副委員長は引き続き精力的に委員会を導いていかれます。本年度残り半分、皆さんで力を合わせて有意義なものにしていきたいましよう!!

地域活力向上委員会 委員長 橋本 正幸